

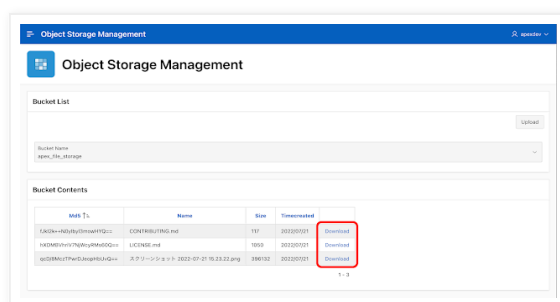
日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2020年2月28日 金曜日

APEXからOCIオブジェクト・ストレージを操作する(8) - ファイルのダウンロード

OCIオブジェクト・ストレージにあるオブジェクトをダウンロードするリンクを、ホーム画面のレポートに追加します。



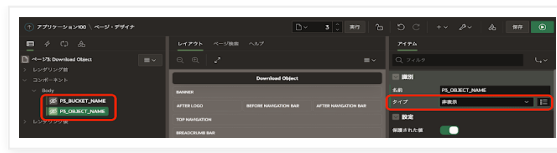
オブジェクトをダウンロードするリンクの追加

オブジェクトのダウンロード要求を処理するページを新規に作成します。このページは画面の表示には使われません。アプリケーションの開発画面より**ページの作成**を実行し、**空白ページ**を選びます。

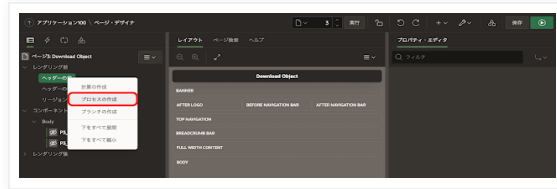
ページ番号として**3**、名前は**Download Object**、ページ・モードは**標準**を選択します。**ナビゲーション**の**ブレッドクラム**、**ナビゲーション**ともに**OFF**にし、**ページの作成**を実行します。



コンポーネントのBodyに、プロセスへ渡す引数の役割をするページ・アイテム**P3_BUCKET_NAME**と**P3_OBJECT_NAME**を作成します。識別の**タイプ**は双方とも**非表示**にします。



左ペインのレンダリング・ビューより、**レンダリング前**に含まれる**ヘッダーの前**の上でコンテキスト・メニューを表示させ、**プロセスの作成**を実行します。



作成したプロセスの識別の名前をdownloadObjectとし、識別の**タイプ**に**コードを実行**を指定します。**ソースの位置**は**ローカル・データベース**、**PL/SQLコード**として以下を記述します。元のブログのコードは日本語の扱いに不備があったので、その部分を修正しています。

```
declare
    l_request_url varchar2(32767);
    l_content_type varchar2(32767);
    l_content_length varchar2(32767);

    l_response blob;

    download_failed_exception exception;
begin
    l_request_url := :G_BASE_URL || 'b/'
        || :P3_BUCKET_NAME || '/o/'
        || utl_url.escape(:P3_OBJECT_NAME, false, 'AL32UTF8');

    l_response := apex_web_service.make_rest_request_b(
        p_url => l_request_url
        , p_http_method => 'GET'
        , p_credential_static_id => :G_OCI_WEB_CREDENTIAL
    );

    if apex_web_service.g_status_code != 200 then
        raise download_failed_exception;
    end if;

    for i in 1..apex_web_service.g_headers.count
    loop
        if apex_web_service.g_headers(i).name =
            'Content-Length'
        then
            l_content_length :=
                apex_web_service.g_headers(i).value;
        end if;
    end loop;
end;
```

```

if apex_web_service.g_headers(i).name =
    'Content-Type'
then
    l_content_type :=
        apex_web_service.g_headers(i).value;
end if;
end loop;

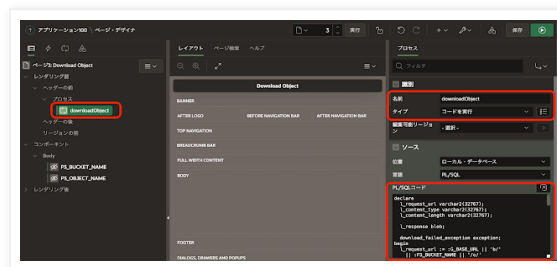
sys.http.init;
if l_content_type is not null then
    sys.owa_util.mime_header(trim(l_content_type), false);
end if;
sys.http.p('Content-length: ' || l_content_length);
sys.http.p('Content-Disposition: attachment; filename="'
    || utl_url.escape(:P3_OBJECT_NAME, false, 'AL32UTF8') || '"');
sys.http.p('Cache-Control: max-age=3600'); -- if desired
sys.owa_util.http_header_close;
sys.wpg_docload.download_file(l_response);

apex_application.stop_apex_engine;
end;

```

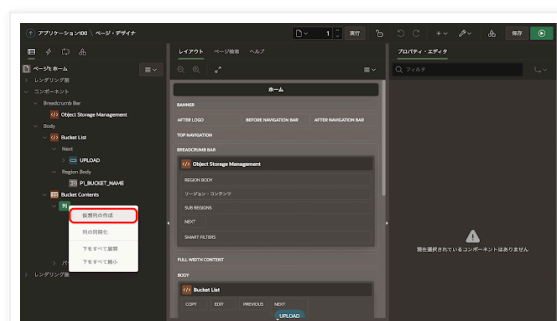
downloadFile.sql hosted with ❤ by GitHub

[view raw](#)

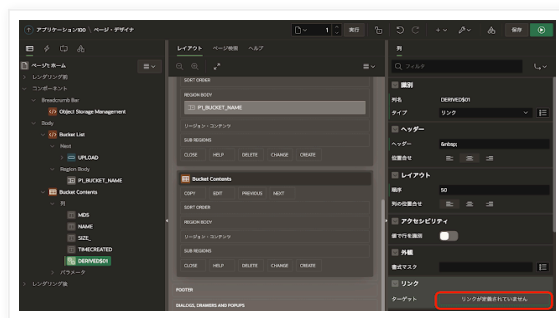


このコードの最後に`apex_application.stop_apex_engine;`の記載があります。downloadObjectプロセスはAPEXの標準的なページ処理を中断させているため、この後の処理は（どのような処理をページに追加していても）実行されません。

次にページ1のホーム画面をページ・デザイナーで開き、オブジェクトの一覧にダウンロード・リンクを追加します。リージョン**Bucket Contents**の列の上でコンテキスト・メニューを開き、**仮想列の作成**を実行します。



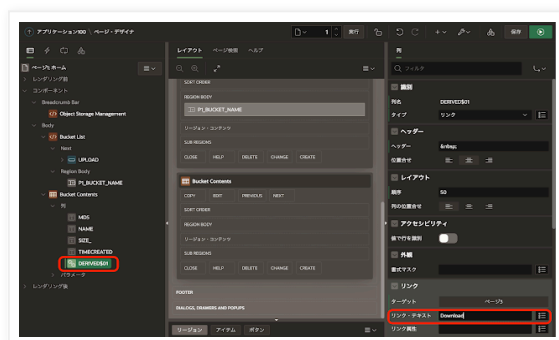
作成された仮想列**DERIVED\$01**を選択し、**リンクが定義されていません**をクリックし、リンク/ターゲットを設定します。



リンクのターゲットは先ほど作成したDownload Objectのページなので、ターゲットの**タイプ**は**このアプリケーションのページ**、ページは**3**です。アイテムの設定として、**P3_BUCKET_NAME**にはページ・アイテム**&P1_BUCKET_NAME.**を値として渡し、**P3_OBJECT_NAME**にはレポートの出力である**#NAME#**を値として与えます。**OK**をクリックして、ターゲットを設定します。



最後にリンクの**リンク・テキスト**を**Download**に変更し、**保存**をします。



これでダウンロード機能の実装ができました。アプリケーションを実行して、ホーム画面のレポートからオブジェクトのダウンロードを実行してみましょう。

続く

[ウェブ バージョンを表示](#)

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。
こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

[詳細プロフィールを表示](#)

Powered by [Blogger](#).
